

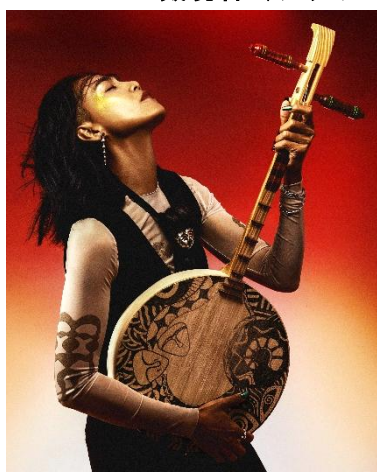
「声」による文化継承を重んじる台湾原住民族の「パイワン族」。
世界が注目する 2 組の若手アーティストが、本公演でしか実現しない
特別な共演で、魂を揺さぶる歌声を響かせる！

パイワン族とは？

台湾には現在、政府が認定する 16 の原住民族が暮らしており、その内の 1 つが排灣(パイワン)族。パイワン族の文化において、歌は単なる娯楽ではなく、祖先の記憶や歴史、人生の節目、祈りや感謝の心を次世代へ伝える重要な文化遺産です。近年、台湾原住民族文化は世界のワールドミュージック界から大きな注目を集めており、中でもパイワン族は、豊かな伝統歌謡、現代へと受け継がれる強い文化的アイデンティティによって高く評価されています。

今回はそんなパイワン族の若手 2 組のアーティストによるコンサートをお送りします。この 2 組が共演するのは日本初・今回の来日では公演は当ホールのみとなります！ぜひこの貴重な機会をお見逃しなく！

シンガーソングライター **戴曉君（サウヤーリ）**



ヴォーカルアンサンブル **泰武古謠傳唱（タイウー古謠伝唱団）**



- ◆月琴(中国伝統の弦楽器)を演奏・パイワン族の伝統歌謡等を歌い継ぐ
- ◆2025 年 Global Music Awards ワールドミュージック部門ゴールド・アワードを受賞。「台湾のグラミー賞」とも呼ばれる第 36 回金曲獎では最優秀原住民語アルバム賞と最優秀編曲賞を受賞、第 16 回金音創作獎では最優秀フォークアルバム賞と最優秀ミュージシャン賞を受賞。

- ◆特徴は、複数の声が重なり合うパイワン族独特の**多声音楽(ポリフォニー)**
- ◆2012 年アルバムで金曲獎を受賞。グラミー賞受賞歴を持つ音楽家ダニエル・ホーとの共作アルバムで金曲獎を受賞。
- ◆オーストラリア、マレーシア等の世界的な音楽祭へ出演、アメリカやヨーロッパ等世界各地で公演を行うなど、台湾原住民族音楽を国際舞台へ精力的に発信。

＜開催概要＞

公 演 名： aiphonic 地球音楽プログラム「ROOTS—台湾の風、魂の響き」

出 演 者： 戴曉君（サウヤーリ）／ヴォーカル、月琴

泰武古謠傳唱（タイウー古謠伝唱団）／ヴォーカルアンサンブル

日 時： 2026 年 11 月 7 日（土）14：00 開演（13：30 開場）

会 場： 伊丹アイフォニックホール メインホール（〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前 1-3-30）

料 金： 一般 4,000 円、学生 2,000 円（当日各 500 円増）※全席指定 ※未就学のお子様の入場はご遠慮ください。

チケット発売日： 8 月 25 日（火）（窓口販売開始 9：00、電話予約開始 13：00（初日のみ））

※イープラス 販売開始 10：00（初日のみ） <https://eplus.jp/>

主 催： 公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団／伊丹市

※取材・撮影をご希望の場合は事前にお問合せください。



＜関連イベント概要＞

「aiphonic 地球音楽プログラム ROOTS－台湾の風、魂の響き」公演のプレ企画として、パイワン族や台湾の文化や歴史を学べる講座を実施します。

国立民族学博物館グローバル現象研究部・教授を務め、現地での経験も豊富な野林厚志さんを講師に迎え、お話しします。

台湾原住民、とくにパイワン族を、料理や工芸、芸術などの文化を紹介しながら紐といていき、公演出演者・戴曉君（サウヤーリ）や泰武古謡傳唱（タイウー古謡伝唱団）がお届けする、パイワン族の音楽の背景や魅力をより感じていただける講座となっています。



▲パイワン族の伝統食・アワのちまき作りの様子

講座名：文化サロン “話題探訪”

「台湾を彩る民族のモザイク～パイワン族の暮らしを訪ねて」

日 時：2026 年 9 月 17 日（木）19：00～20：30

会 場：伊丹アイフォニックホール 小ホール 1

講 師：野林厚志（国立民族学博物館グローバル現象研究部・教授）

料 金：1,500 円

定 員：50 名

※取材・撮影をご希望の場合は事前にお問合せください。

＜お問合せ先＞ 伊丹アイフォニックホール（伊丹市立音楽ホール）

TEL：072-780-2110／FAX：072-780-2120（9：00～22：00、水曜日休館）

担当：西村 茜 【E-mail】info@aiphonic.jp 【URL】<https://aiphonic.jp/>

ROOTS
—ルーツ—

祈りと記憶を歌い継ぐ、
台湾の原住民族「排灣族」
—魂の響演をお楽しみに！

台湾の風、魂の響き

戴曉君

サウヤーリ (ヴォーカル、月琴)



泰武古謠傳唱
タイウー古謠伝唱団 (ヴォーカル・アンサンブル)

2026.

11/7 土 14:00開演(13:30開場)

伊丹アイフォニックホール (伊丹市立音楽ホール)

PROGRAM

戴曉君

- ・狩りの前の集い
- ・自分の道を探して
- ・収穫の踊り ほか

泰武古謠傳唱

- ・陽気なおしゃべり
- ・恋しさの涙
- ・トカゲたちよ ほか

※曲目は変更になる場合がございます。

チケット発売
8/25
(火)

一般 4,000円 / 学生 2,000円 (当日各500円増・全席指定)

※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。
※前売券完売の際、当日券は発売いたしません。
※車椅子席は、伊丹アイフォニックホールのみの取扱いです。

ホール
事務所

窓口販売開始9:00 電話予約開始13:00 (初日のみ)

電話予約後、郵便振替がご利用可能です。
(振込先) 加入者名: 伊丹アイフォニックホール 口座番号: 00960-4-316319
※送料250円を加算してお振込みください。振込手数料はご負担願います。

イープラス

販売開始10:00 (初日のみ) <https://eplus.jp/>

お申込み
お問合せ

伊丹アイフォニックホール

☎072-780-2110 [9:00~22:00 水曜日休館]

🌐 <https://aiphonic.jp/>

📘 <https://fb.com/aiphonic/> 📷 @aiphonic_itami

📧 @ItamiAPHall

📺 @APchan_aiphonic

音楽と文化が色濃く受け継がれる

パイワン族

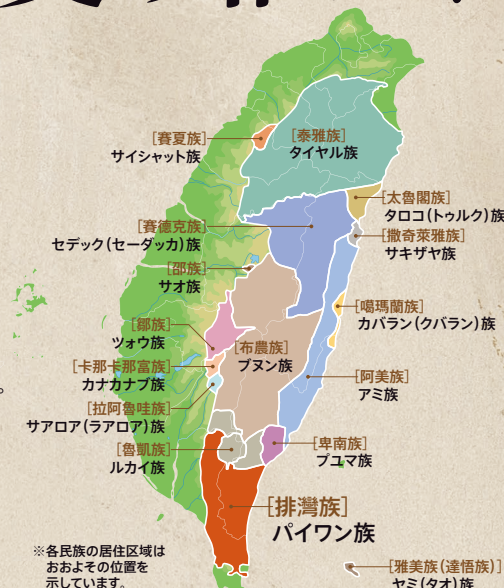
台湾には現在、政府が認定する16の原住民族が暮らしている。人口は約63万人で、台湾全体の約2.7%を占める。彼らは数千年にわたり台湾で独自の言語や文化を育み、それぞれ異なる歴史や伝統を受け継いできた。

その中でパイワン族は、アミ族に次ぐ台湾第2の人口規模を持つ原住民族。主に台湾南部の山岳地帯から恒春半島にかけて暮らし、独自の言語、祭祀、工芸、歌文化を現在まで色濃く残していることで知られる。

パイワン族の文化において、歌は単なる娯楽ではなく、祖先の記憶や歴史、人生の節目、祈りや感謝の心を次世代へ伝える大切な文化遺産である。多くの歌は口承によって受け継がれ、長老から若い世代へと歌い継がれてきた。

近年、台湾原住民族文化は世界のワールドミュージック界から大きな注目を集めている。その中でもパイワン族は、豊かな伝統歌謡や独特の多声音楽（ポリフォニー）、そして現代へと受け継がれる強い文化的アイデンティティによって高く評価されている。

今回出演するアーティストは、こうしたパイワン族の豊かな歌文化と精神性を現代の音楽として表現し、台湾のみならず世界へ発信している。伝統と革新が共存するその音楽は、台湾原住民族文化の魅力に出会わせてくれる。



サウヤーリ 戴曉君

台湾南部の原住民族パイワン族出身のシンガーソングライター。祖先から受け継いだパイワン族の伝統歌謡と、台湾最南端・恒春地方に伝わる恒春民謡を礎に、月琴（ユエチン）の響きを取り入れた独自の音楽世界を築いている。2016年のデビュー作『Tracing the River of Life』は金曲奨、金音創作奨で計5部門にノミネートされ注目を集めた。続く『INSIDE REVEALED』も高い評価を受け、台湾原住民族音楽の新たな表現者として存在感を確立。2024年発表の『VAIVAIK 尋走』では、第36回金曲奨で最優秀原住民族語アルバム賞・最優秀編曲賞、第16回金音創作奨で最優秀フォークアルバム賞・最優秀ミュージシャン賞を受賞。アジア、欧米、オセアニアの主要フェスティバルにも招聘されるなど、台湾原住民族文化の魅力を世界へ発信し続けている。



TBT 泰武古謠傳唱

台湾原住民族パイワン族の伝統歌謡を歌い継ぐヴォーカル・アンサンブル。2000年代初頭、パイワン族出身の教育者カマケ・ヴァラウレが、屏東県の泰武小学校で子どもたちとともに失われつつあった祖先の歌の継承に取り組んだことから活動が始まった。長老たちから学び録音・保存された歌は約100曲に及ぶ。最大の特徴は、複数の声が織りなすパイワン族独特の多声音楽（ポリフォニー）。楽器を用いず人の声だけで紡がれる豊かな響きは高く評価され、「山の姿が見え、風の音が聞こえる歌声」と称される。2011年にはNHK『Amazing Voice』で紹介され世界的な注目を集め、2012年にはアルバム『Where The Songs Begin』で金曲奨を受賞。WOMADelaideやRainforest World Music Festivalなど世界各地の音楽祭に出演し、台湾原住民族音楽の魅力を国際舞台へ伝えている。

公演関連企画

申込受付中

9/17 木
19:00~20:30

文化サロン“話題探訪”

「台湾を彩る民族のモザイク～パイワン族の暮らしを訪ねて」

講師：野林厚志（国立民族学博物館グローバル現象研究部・教授）

お申込み
お問合せ

伊丹アイフォニックホール（伊丹市立音楽ホール）

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前1丁目3番30号 <https://aiphonic.jp/>

☎ 072-780-2110 (9:00~22:00/水曜日休館 ※水曜日が祝休日の場合翌平日)

アクセス

阪急伊丹駅まで ▶ 阪急大阪梅田駅から約30分 阪急神戸三宮駅から約40分

阪急伊丹駅から ▶ 徒歩約4分

JR伊丹駅まで ▶ JR大阪駅から約20分 JR三ノ宮駅から約30分

JR伊丹駅から ▶ 徒歩約7分

※周辺に有料地下駐車場等有り



鑑賞de
寄っ!
itami



<https://fb.com/aiphonic/> [@aiphonic_itami](https://twitter.com/aiphonic_itami) [@ltamiAPHall](https://twitter.com/ltamiAPHall) [@APchan_aiphonic](https://twitter.com/APchan_aiphonic)

台湾を彩る民族のモザイク ～パイワン族の暮らしを訪ねて

9月17日(木)

19:00～20:30 (18:30開場)

会 場：伊丹アイフォニックホール 小ホール1

受 講 料：1,500円 ※講座当日のご精算とさせていただきます。

定 員：50名

受付開始：7月21日(火)



▲パイワン族の伝統食・アワのちまき作りの様子

人口約2300万人が暮らす台湾には、様々な出自・歴史経験を持つ人々が住んでいます。

台湾の原住民族、とくに排灣（パイワン）族をはじめとする人々の暮らしや文化に注目し、料理や工芸、芸術など生活に根ざした文化の魅力をご紹介し、台湾の歩んできた歴史を紐といていきます。

また、講師の現地での体験も交えながら、台湾の人々が育んできた文化がどのように受け継がれ、変化してきたのかもお話ししていきます。台湾の歴史や多文化社会への理解を深めながら、その豊かな文化に触れてみませんか？

講師：野林 厚志（国立民族学博物館グローバル現象研究部・教授）

研 究 分 野：人類学、民族考古学、フォルモサ研究、食文化研究

主な調査地域：台湾

研 究 内 容：人間と自然環境との関係を生業行動、食文化、物質文化から研究している。また、台湾におけるエスニシティの歴史的变化を社会文化的ニッチの確立という観点から探究している。



<お申込み・お問合せ>

伊丹アイフォニックホール
(伊丹市立音楽ホール)

☎ 072-780-2110

📍 〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前1丁目3番30号

主催：公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団／伊丹市



阪急伊丹駅まで：阪急大阪梅田駅から約30分
阪急神戸三宮駅から約40分 JR伊丹駅まで：
JR大阪駅から約20分 JR三ノ宮駅から約30分



阪急伊丹駅から徒歩約4分
JR伊丹駅から徒歩約7分
※周辺に有料駐車場がございます

関連公演

「ROOTS－台湾の風、魂の響き」

2026年11月7日(土) 14時開演

会場：伊丹アイフォニックホール
メインホール

チケット発売：8月25日(火) 予定

パイワン族出身のシンガー

戴曉君（サウヤーリ）

ヴォーカルアンサンブル

泰武古謠傳唱（タイウー古謠伝唱団）

による響演をお楽しみに！

🏠 ホームページやSNSで最新の情報をチェック！🏠

🌐 <https://aiphonic.jp> 📘 <https://fb.com/aiphonic/> 📷 @aiphonic_itami

📧 @ItamiAPHall 📧 @APchan_aiphonic